



補習校便り

2025.6.14
No. 25—10
マイアミ補習校
校長 嶋中 直幸

マイアミ補習校卒業生が書いた本の紹介

作者の雅 和都（みやび わと）さんは、マイアミ補習校中学部の卒業生です。彼女は中学3年生だった2023年6月15日に、『秘密のお友だち』という本を発行しました。本の帯には次のように書いてあります。

鬼と人との、心の通った友情を描いた物語。

おじいちゃんの家近くに遊びに来た「ひかる」は、キラキラ光るハンミョウを捕まえます。でもハンミョウが逃げ出してしまい、それを追いかける「ひかる」は、子どもみたいな鬼と出会うのですが……。



本の表紙にもなっている「ハンミョウ」という昆虫が、カギを握っているのですが、まだ読んでいない人もいますので詳しくは言えません。世代を超え、真の友情について考えることができる本です。作者からマイアミ補習校に献本がありましたので、図書室に入れました。すべての漢字にふり仮名がふってあります。幼稚部から中学部まで、誰もが読みやすくなるように配慮がされています。

そう言えば先週、昼休みに生徒会を行い、8月の目標を話し合ったところ、中学部1年生から、「読書の冊数を増やしましょう」という意見が出ていました。今回紹介した本は31ページです。すぐに読めると思います。もう、現地校は夏休みに入っていますね。夏休みを利用して、日本語の維持上達には欠かせない「読書」にも取り組むことを希望します。

作者の雅 和都さんは、現在高校生ボランティアとして、マイアミ補習校のために一緒に汗を流しています。興味のある人は、ぜひ、先輩である作者本人から、この物語に込められた願いや、体験談なども聞いてみてください。そうそう、「雅和都」というのはペンネームです。本名は、谷田実優さんといいます。

作品募集のお知らせ

読書と共に、書くことも日本語の維持向上には欠かせません。ぜひ、夏休みを利用して、各種コンクールに作品を応募してみたいかと思いますが、今日までに、学校に知らせのあったものについて、下記にまとめましたので、ご参考にしてください。

第46回海外子女文芸作品コンクール

こちらは、マイアミ補習校として応募します。各学年で作品を仕上げたと思いますが、教室で書いた作品以外の部門にも応募することができます。校内締め切りは6月21日です。マイアミで気づいたこと感じていること、日本との違いなどなど、海外生活で考えたことを書き留めておきましょう。

詳細はこちら → <https://www.joes.or.jp/kojin/bungei/detail/4>

第9回生命を見つめるフォト&エッセー（日本医師会・読売新聞社共催）

人間や動植物のいのちの輝く一瞬をとらえた写真や、医師や看護師、患者との交流やペットとのふれあい等をつづったエッセーを募集します。

詳細はこちら → <https://jigyuu.yomiuri.co.jp/photo-essay/>

第7回子ども作文コンクール（主催：子ども教育支援財団）

国内外の小・中学生を対象に、「先生」をテーマにした作文を募集します。

詳細はこちら → <https://kodomo-zaidan.net/news/2025/6002>

第17回日本語大賞（主催：図書館振興財団）

「私のキャッチコピー」をテーマにした作文を募集します。

詳細はこちら → <https://www.nihongokentei.jp/grandprize/>

「海とさかな」自由研究・作品コンクール（朝日新聞社・朝日学生新聞社）

「海とさかなとわたしたち」をテーマにした作文を募集します。

詳細はこちら → <https://www.umitosakana.com/>

第56回市村アイデア賞（市村清新技術財団）

詳細はこちら → <https://www.sgkz.or.jp/develop/download/outline.html>

連絡事項

- ◎ 6月14日は中学部の中間テストが行われます。
- ◎ 5月31日から、6月21日までの4週間は、個人面談期間のため特別時間割となります。8時45分から1時間目の授業を始めますので、遅れないように登校してください。

マイアミ補習校欠席等フォーム

欠席・遅刻・早退などの連絡は、右のQRコードからもできます。深夜や早朝、日本からでも連絡できます。どうぞご利用ください。

